

ユニセフとわたしたち



(25周年記念事業 撮影:北海道ユニセフ協会)

CONTENTS 【目次】

- ご挨拶
- 2019年事業報告
- 2020年事業計画
- 特集 コープさっぽろ インドネシア・パプア地域
識字率向上プロジェクト スタディツアー
- 支部報告と計画の概要
道央、道東、道北、道南
- 写真で見る活動報告
- 25周年記念事業報告
- インフォメーション

未来を担う子ども達のために

北海道ユニセフ協会
会長理事 長瀬 清



2019～2020年にかけて世界中で大災害—ハリケーン、熱波、寒波、火山噴火、地震等が多発しました。産業革命後の産業の大発展で人類は非常な恩恵を受けた一方で、地球の環境が変化を来し、現在の大災害の基となっています。スウェーデンのグレタ・トゥエンベリさんが国連をはじめ世界各国で声を大にして訴えているように、これら災害の多発は地球の環境変化による温室効果が原因し、今、すぐに炭酸ガス排出による大気汚染を止めなければ人類は滅亡すると言う訴えは正しいものに思えます。このような環境や多くの国々で内戦による局地紛争で生命の危険に曝されて、力の弱い幼児、子どもや経済的弱者である人達が大変な生活を強いられています。特に、その犠牲になるのは自力で生きてはいけない子ども達であり、現に国を追われ難民化し、十分な食も得られず悲惨な生活を強いられています。また、勉学に意欲がありながら、ままならない子どもたちに、学習の場を提供することも考えなければなりません。

ユニセフは、多くの人々の善意に支えられ、これらの不幸な子ども達を救うための活動を続けています。

募金活動、広報活動が重要な仕事であり、これを行っているのは自分の仕事を持つボランティア意識の高い人々頼りです。今年も皆で力を合わせ頑張っ活動をしていきたいと思っています。応援よろしくお願い致します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



1) 活動報告

1. 北海道ユニセフ協会の運営を向上させます。

- ① 拡大常務会は年11回開催し、4月に第1回理事会・評議員会を行い、2018年報告と2019年事業計画が審議されました。また同日、支部連絡会を開催し事務局と各支部からの連絡交流を深めました。10月に第2回理事会を行い、2019年上期報告と2020年事業計画が審議されました。
- ② ボランティアの募集を目的に、ボランティア説明会を札幌・釧路で開催しました。また各イベント会場にてボランティア募集も行いました。
- ③ 他団体主催・共催のイベントを通じて交流を深めるとともにネットワークの充実を図りました。従来のイベントに加え、株式会社クレオテック主催の「キッズワークショップ」吉本興業主催「みんなのウィーク」「SDGsウォーク」コープさっぽろ帯広地区委員会主催「平和のつどい」にそれぞれ参加しました。NPO法人札幌歩こう会の名義後援を行い、市立札幌大通高校遊語部によりフェアトレード商品バザーをイベント会場において開催していただきました。
- ④ 毎月ボランティア通信を発行し、ユニセフについての内部学習を進めました。また日本ユニセフ協会が主催する会議・研修会に参加し、情報交換と学習を進めました。

2. ユニセフ活動への理解と協力を広げる活動を強めます。

- ① 広報誌は5月に2200部発行し、役員、会友、後援依頼先、協力団体・個人などにお届けしました。さらに会友、評議員に向けての情報発信をしました。ホームページでは、様々な活動を告知・報告し、情報発信に努めました。北海道・札幌市・帯広市・北海道内179市町村教育委員会及び11の報道関係各位に北海道ユニセフ協会への後援をいただきました。
- ② 出前授業など講師派遣は19件、ユニセフ視聴覚教材・学習ツールの貸し出しは5件となりました。
- ③ パネル展開催は、会場での学習ツールを使つての説明から募金・支援ギフトへつなげる努力をしました。ちえりあで2回、北広島エルフィンパーク・北海道庁・札幌市役所・創成スクエア・コンベンションセンター・新千歳空港・アスティ4・5やコープさっぽろ関係等21か所で取り組みました。
- ④ 北海道ユニセフ協会25周年記念事業において講演会を開催いたしました。
- ⑤ 北海道ユニセフ協会会友及び日本ユニセフ協会賛助会員の拡大は、イベント会場での呼びかけを中心に行いました。

3. ユニセフ募金についての活動を前進させます。

- ① 一般募金はイベントでの呼びかけを中心に行いました。学校募金は、出前授業・ユニセフ資料の貸出等の機会に募金のご案内をしました。団体・企業への取り組みは、北海道庁・札幌市役所の協力をいただき、コープさっぽろの「よむ・かく・うれしい！支援プロジェクト」に取り組むことができました。緊急募金は「人道支援緊急募金」をイベント2会場において呼びかけを行い、また第25回ユニセフ・札幌ラブウォークも行いました。外貨募金は新千歳空港国際線・千歳セントラルロータリークラブ・ハコダテだらせんプロジェクト・コープさっぽろ書き損じハガキキャンペーンで集められたものを、日本通運より日本ユニセフ協会へ発送しました。
- ② 今年度のハンド・イン・ハンドは「すべての子どもに生きるチャンス」をテーマに役員、ボランティアの皆さんと行いました。
- ③ 支援ギフトは北海道ユニセフ協会事務所にて常設展示している他、イベント3会場で展示され募金から経口ポリオワクチンを送りました。また、北海道高等学校長協会社会貢献プロジェクトから「箱の中の学校」を申し込みました。
- ④ 使用済み切手・書き損じハガキの換金作業・イベントでの募金の呼びかけに取り組みました。コープさっぽろ「書き損じハガキキャンペーン」仕分け換金作業を行いました。
- ⑤ カレンダー募金はホームページによるカレンダー・手帳の提供を呼びかけ、北海道ユニセフ協会主催のバザーに取り組みました。

2) 2019年 決算報告

《収入の部》

大項目	中項目	小項目	合計
協会からの仮受金収入			4,777,158
	運営費仮受金		1,387,500
	地域普及費仮受金		3,104,215
	特別事業仮受金		285,443
寄付金収入			0
会費収入(独自)			0
補助金収入			0
	公的機関からの補助金		0
	民間からの補助金		0
雑収入			6
募金仮受金			3,551,743
小計			8,328,907
前期繰越金			100,000
収入合計			8,428,907

《支出の部》

大項目	中項目	小項目	合計
事業費			3,279,574
	啓発・募金活動費		2,994,325
		催事費	323,914
		資料制作費	303,761
		旅費交通費	213,420
		通信運搬費	403,431
		消耗品費	81,648
		ボランティア費	578,926
		アルバイト費	120,000

《支出の部》

大項目	中項目	小項目	合計
		光熱水費	49,374
		事務所借料	259,200
		OA機器リース費	52,488
		事務局スタッフ費	600,000
		雑費	8,163
	特別事業費		28,285,249
運営費			1,255,858
	会議費		31,299
	通信運搬費		12,026
	消耗品費		16,360
	図書資料費		0
	印刷製本費		1,187
	光熱水費		49,986
	賃借料		315,832
		事務所借料	262,400
		OA機器リース費	53,432
		備品購入費	758
		交通費	226,250
		事務局スタッフ費	600,000
		雑費	2,160
		租税公課	0
募金仮受金入金払出金			3,551,743
	日本ユニセフ協会へ返金		241,732
小計			8,328,907
次期繰越金			100,000
支出合計			8,428,907

3) 活動データ

I 月別募金推移

円(件数)

	1月	2月	3月	4月
2018年	617,537(10)	225,937(15)	570,127(13)	11,821,102(10)
2019年	667,945(14)	71,717(9)	867,238(13)	13,829,116(7)
	5月	6月	7月	8月
2018年	277,036(22)	99,492(18)	645,580(31)	245,613(15)
2019年	277,947(15)	969,382(18)	802,209(41)	317,012(14)
	9月	10月	11月	12月
2018年	166,042(7)	195,408(23)	120,545(17)	3,462,910(71)
2019年	319,000(16)	179,159(15)	187,183(41)	3,558,797(87)
	合計			
2018年	18,447,329(252)			
2019年	22,046,705(290)			

II 2019年 募金をいただいた方々

(書き損じハガキ・使用済み切手など含みます)

1月

個人・団体5件/札幌市立西野中学校/札幌国際高等学校帯広学習センター/札幌大通郵便局/岩見沢はまなすライオンズクラブ/コープさっぽろ西岡ボランティアグループ/コープさっぽろ3件/北郷なでしこコープ会北郷ライラックコープ会/東洋商事(株)本社営業部/グローバル設計(株)/チャイルドサポートはまなす

2月

匿名1件/個人1件/札幌市立新琴似中学校/札幌市立西野中学校/帯広鉄南郵便局/帯広東11条郵便局/遠軽郵便局/ガールスカウト北海道連盟札幌地区協議会/コープさっぽろ西岡ボランティアグループ/コープさっぽろ2件/東京海上日動火災保険(株)札幌中央支店/(株)コンサドレ/イオンモール札幌発寒/チャイルドサポートはまなす

3月

匿名3件/個人4件/札幌市立屯田北小学校/札幌静修高等学校/市立大通高等学校遊語部/北海道高等学校長協会/札幌大通郵便局/札幌清田ライオンズクラブ/札幌グリーンライオンズクラブ/帯広市社会福祉協議会/岩見沢市社会福祉協議会/コープさっぽろ1件/(株)オバタ/チャイルドサポートはまなす

4月

匿名2件/個人1件/札幌大通郵便局/帯広長崎屋内郵便局/NOVA/日本石油輸送(株)北海道支店/太平電業(株)北海道支店/チャイルドサポートはまなす

5月

匿名2件/個人6件/旭川神楽岡五条郵便局/札幌市交通局 事業管理部/JA北海道信連/公益財団法人北海道学校給食会/コープさっぽろ西岡ボランティアグループ/コープさっぽろ2件/佐藤水産株式会社/佐藤水産(株)本店/佐藤水産(株)市場店/佐藤水産(株)オールドリバー/チャイルドサポートはまなす

- 6月 個人2件／森の広場の音楽会／立正校成会札幌北教会／千歳セントラルロータリークラブ／日本空港株式会社千歳空港支店／コープさっぽろ／チャイルドサポートはまなす／北海道ユニセフ協会道東支部
- 7月 匿名3件／個人2件／札幌大通郵便局／公益財団法人北海道盲導犬協会／コープさっぽろ4件
- 8月 個人2件／旭川神楽岡5条郵便局／札幌大通郵便局／帯広電信通郵便局／札幌グリーンライオンズクラブ／コープさっぽろ1件／(株)金太郎／石屋製菓(株)／函館だらせんプロジェクト実行委員会／千歳セントラルロータリークラブ／札幌市立宮の森小学校／北海道教育大学付属札幌小学校／チャイルドサポートはまなす
- 9月 匿名1件／個人5件／25周年事業実行委員会／市立北都小学校／新発寒ユニセフグループ／(株)LNJ 商事／チャイルドサポートはまなす
- 10月 匿名1件／個人8件／森の広場の音楽会／札幌市立前田北小学校／長田廣告株式会社／コープさっぽろ西岡ボランティアグループ／日本石油輸送(株)／チャイルドサポートはまなす
- 11月 匿名2件／個人5件／学校法人希望学園北嶺中等学校生徒会／コープさっぽろ1件／市民ネットいしかり／チャイルドサポートはまなす
- 12月 匿名1件／個人12件／札幌市立発寒中学校／札幌市立前田北中学校／帯広長崎屋内郵便局／札幌南6条西郵便局／陶 studioTADA／コープさっぽろ2件／ハンドインハンド北海道ユニセフ協会／東京海上日動火災保険(株)北海道業務支援部／日比谷通商(株)札幌営業所／(株)LNJ 商事チャイルドサポートはまなす

Ⅲ パネル・DVDなどの貸出実績

- 1月 札幌市立青葉中学校
- 5月 札幌大学
- 11月 札幌市立前田北中学校／市民ネットいしかり／札幌市立富岡小学校／個人1名

Ⅳ 学習会・募金贈呈式

- 1月 コープ学習会帯広ベルデ教室／コープ学習会西岡店／札幌市立青葉中学校／札幌市立西野中学校
- 2月 札幌市立新川小学校
- 3月 札幌市立屯田北小学校市立札幌／大通高校
- 5月 コープさっぽろほんどおり店／佐藤水産(株)
- 6月 森の広場の音楽会
- 7月 札幌大学／札幌市立中央中学校
- 8月 札幌市立宮の森小学校
- 10月 札幌市立前田北小学校／札幌市立発寒南小学校／札幌市立共栄小学校／森の広場の音楽会／札幌市立発寒西小学校
- 11月 北嶺中学校／札幌市立西野小学校／札幌市立八軒北小学校／平岡コープ会／札幌市立前田北中学校

Ⅴ 会友登録状況

2019年12月31日現在119名の登録となっております。

*順不同

*団体、個人は匿名も含まれます。

*募金は北海道ユニセフ協会扱いのみ記載しています。



2020年 事業計画

1) 活動計画

1. 北海道ユニセフ協会の運営を向上させます。

1. 機関運営は従来通り拡大常務会月例開催し活動の報告と審議を行います。理事会は年2回（2月、10月）評議員会年1回（2月）行い、報告や計画、役員を選任について審議します。
2. ボランティア体制の充実に努めます。説明会を各地で開催し、各イベント会場でもボランティア募集を行います。
3. 他団体主催・共催のイベントを通じて交流を深めるとともにネットワークづくりを目指します。また、名義後援もを行います。
4. 事務局とボランティア協力のもと、内部学習会を積極的に行います。日本ユニセフ協会主催の会議・研修会・スタディツアーに参加し、情報交換と学習を進めます。

2. ユニセフ活動への理解と協力を広める活動を強めます。

1. 広報誌は2200部発行し、役員・会友・後援依頼先・協力団体・個人などにお届けします。さらに会友、評議員に向けての情報発信をします。ホームページについては活動を事前にお知らせし、毎週更新として報告できるよう努めます。北海道庁・札幌市・帯広市・道内179市町村教育委員会及び11の報道関係に北海道ユニセフ協会への後援をお願いします。
2. 学校関係との連携強化を目指し、講師派遣を行います。視聴覚教材などの学習ツールの貸出もを行います。日本ユニセフ協会主催の学校キャラバンと共に、道内の学校にユニセフの理解を広めます。
3. 北海道内各地の公共施設及び会場でユニセフ写真展を開催し、広く道民の理解と協力を呼びかけます。合わせて、募金・支援ギフトへつなげる努力をします。
4. 北海道ユニセフ協会主催の講演会・フォーラムを開催します。
5. 北海道ユニセフ協会会友及び日本ユニセフ協会賛助会員の拡大を目指します。
6. 子どもの権利を守るため日本ユニセフ協会が提唱するアドボカシー活動の広報に努めます。

3. ユニセフ募金についての活動を前進させます。

1. 一般募金の拡大を目指し、イベントでの呼びかけを行います。学校関係の働きかけの他、団体・企業への協力を呼びかけます。また、コープさっぽろの指定募金に共に取り組みます。緊急募金は日本ユニセフ協会の呼びかけに応じます。第26回ユニセフ・札幌ラブウォークを行います。
2. ハンド・イン・ハンド活動を進め、各支部にも実施要請していきます。その他企業、学校関係へも事前に働きかけます。
3. 北海道ユニセフ協会事務所にて常設展示のほか、イベントでの「支援ギフト」紹介に取り組みます。
4. ボランティアグループ「チャイルドサポートはまなす」による募金活動を強めます。コープさっぽろ「書き損じハガキキャンペーン」仕分け換金作業を行います。
5. カレンダー募金はホームページでカレンダー提供を呼びかけ、バザーに取り組みます。

2) 2020年度 予算

《収入の部》

大項目	中項目	小項目	合計
協会からの仮受金収入			5,265,220
	運営費仮受金		1,387,500
	地域普及費仮受金		3,877,720
	特別事業仮受金		0
寄付金収入			0
会費収入(独自)			0
補助金収入			0
	公的機関からの補助金		0
	民間からの補助金		0
雑収入			1,000
募金仮受入金			2,000,000
小計			7,266,220
前期繰越金			100,000
収入合計			7,366,220

《支出の部》

大項目	中項目	小項目	合計	
事業費			3,878,720	
	啓発・募金活動費		3,878,720	
		催事費	600,000	
		資料製作費	450,000	
		旅費交通費	550,000	
		通信運搬費	450,000	
		消耗品費	120,000	

《支出の部》

大項目	中項目	小項目	合計	
事業費		ボランティア費	600,000	
		アルバイト費	120,000	
		光熱水費	50,292	
		事務所借料	264,000	
		OA機器リース料	53,460	
		事務局スタッフ費	600,000	
		雑費	20,968	
		特別事業費	0	
				1,387,500
	運営費	会議費		40,000
通信運搬費			18,000	
消耗品費			10,000	
図書購入費			5,000	
印刷製本費			30,000	
光熱水費			50,292	
賃借料			317,460	
		事務所借料	264,000	
		OA機器リース料	53,460	
		備品購入費	8,000	
		交通費	300,000	
		事務局スタッフ費	600,000	
		雑費	8,748	
	租税公課	0		
募金仮受入金払い出し金			2,000,000	
日本ユニセフ協会へ返金			0	
小計			7,266,220	
次期繰越金			100,000	
支出合計			7,366,220	

2020年 役員・評議員名簿

1) 役員

顧問	鈴木直道 (北海道知事)	常務理事	高口雅晴 (コープさっぽろ 組織本部組合員活動部部长)
顧問	秋元克広 (札幌市長)	理事	石井純二 (北海道経済同友会代表幹事)
顧問	岩田圭剛 (北海道商工会議所連合会会頭)	理事	扇間康弘 (日本ボーイスカウト 北海道連盟副理事長)
相談役	重原祐治 (前財日本ユニセフ協会 北海道支部常務理事)	理事	小林亨 (株式会社北海道新聞社 取締役企画室長)
会長理事	長瀬清 (北海道社会福祉協議会会長・ 北海道医師会会長)	理事	柴田倫宏 (北海道農業協同組合中央会常務)
副会長理事	麻田信二 (北海道生活協同組合連合会会長)	理事	杉山元 (連合北海道会長)
副会長理事	吉野次郎 (元北洋銀行代表取締役副会長・ 現株式会社北星コーポレーション顧問)	監事	高野一夫 (高野公認会計士事務所)
専務理事	花淵馨也 (北海道医療大学大学院教授)	監事	中坪正芳 (折笠会計事務所)
常務理事	櫻木真紀 (コープさっぽろ理事)		
常務理事	銀輝 (北海道ユニセフ協会事務局長)		

2) 評議員

阿部満 (生田原ちゃちゃワールド代表)	中尾了信 (北海道仏教会連盟会長)
市川勝治 (日本ユニセフハムクラブ監査役)	永井風雅 (札幌大学ユニセフネットワーク部長)
植田めぐみ (社)ガールスカウト北海道連盟連盟長)	西尾吉博 (伊藤組土建(株)専務取締役)
大泉弘 (前室蘭友の会代表)	西嶋一泰 (読売新聞東京本社北海道支社長)
岡田朋子 (北海道ユニセフ協会道南支部代表)	西田栄子 (北海道ユニセフ協会道東支部代表)
蒲澤康志 (北海道放送(株)社長室長)	西村裕子 (北海道小学校長会事務局幹事)
川畑恵 ((公財)札幌国際プラザ専務理事)	根上和也 (北海道高等学校長協会副会長)
木曾修 (真宗大谷派北海道教務所長)	根岸豊明 (札幌テレビ放送(株)代表取締役社長)
木下真一 (北海道教職員組合中央執行委員長)	野内吉徳 (ボーイスカウト北海道連盟 常任理事)
日下巖 (創価学会北海道本部副会長)	野々村芳和 (株)コンサドーレ代表取締役社長)
工藤達志 (コープさっぽろ労働組合中央執行委員長)	島山京子 (北海道消費者協会会長)
熊谷典昭 (新日本宗教団体連合会北海道総支部事務局長)	馬場可隆 (立正佼成会札幌北教会長)
小林道 (北海道酪農学園大学講師)	早坂天 (北海道ユニセフ協会道北支部代表)
嶋名隆 (朝日新聞北海道支社長)	藤田一雄 (一般社団法人北海道歯科医師会会長)
清水紀元 (北海道ユニセフ協会道東支部事務局長)	藤原幸恵 (元ユニセフ職員)
條野由理子 (元ガールスカウト北海道支部 札幌地区協議会会長)	山崎賢太郎 (日本航空北海道地区支配人)
末次省三 (株)毎日新聞北海道支社支社長)	吉澤政昭 (北海道市長会事務局長)
関口正雄 (弁護士)	吉田千恵 (コープさっぽろ理事)
多加順子 (元コープさっぽろ理事)	若泉久朗 (日本放送協会札幌放送局局長)
竹内伸仁 (社)北海道薬剤師会会長)	渡邊幸宏 (北海道ユニセフ協会道東支部中標津友の会代表)
寺内達郎 (北海道テレビ放送(株)取締役社長)	和田正教 (北海道中学校長会副会長)
寺西朝子 (北海道ユニセフ協会道南支部事務局長)	

(敬称略、理事・監事・評議員各位は五十音順)

特集 インドネシア パプア地域 スタディツアー

コープさっぽろ基金事務局

コープさっぽろはブータン「水と衛生プロジェクト」が2018年度で募金の最終年度となることから組合員活動企画委員会で検討し、6か所の候補地からインドネシア・パプア地域を新たな支援先として「よむ・かく・うれしい! 支援プロジェクト」をスタートさせました。

そこで2019年4月7日～13日の日程でコープさっぽろと組合員理事5名で「インドネシア パプア地域スタディツアー」に参加しました。

パプア地域では子ども10人のうち5人が読み書きができません。この支援ではパプア地域の子どもたちが「よみ・かき」ができるようになることを目的として始められました。



インドネシア・パプア地域

よむ・かく
うれしい!
支援プロジェクト

4月10日

①インプレス・アルム又小学校 (公立学校・生徒数97名)

視察で初めて訪れた学校で、プログラム支援なし。この学校は先生が来ない。給料の未支給や天候次第により「先生が来ない学校」と呼ばれている。訪問したクラスは1～2年生の複式クラスで、生徒は鉛筆やノートを貸し借りしながら授業を受けており、ひとり1人に必要な教材は行き渡っていません。それでも子どもたちは学校に来ることを楽しみにしていました。



②セスール小学校 (公立学校・生徒数52名)

視察先で一番生徒の少ない学校。生徒たちに歌と踊りで出迎えられ、とてもうれしかった思い出があります。支援プログラムが入ったことで、教室もカラフルになっていました。紙は高価なものなので、砂版を使って読み書きの勉強をしているそう。訪問日には父兄の参加もあり、「プログラムが入ったことで、子どもたちの一番好きなことは読み書きすること」と話してくれました。とてもうれしいことです。



4月11日

③ムルヌワール・サブ小学校（公立学校・生徒数60名）

支援プログラムが入って3カ月の学校で先生との距離は少しまだあるけれど、教員を退職された臨時職員も一生懸命頑張って勉強を教えている姿が見られました。生徒たちは黒板とノートを使い読み書きを。親と先生の教育への思いの差はあるけれど、一歩ずつ教育向上の過程を見ることのできた学校でした。



④ムルヌワール小学校（私立学校・生徒数123名）

ビアク県内の私立学校。制服も規定のものだそう。この学校ではインドネシア語とビアク語を教えており、子どもたちはなんとバイリンガル！ 絵本は、ユニセフで作られたビアク地域での文化風習に基づいて学年別に合わせて作られたもの。手洗い専門のファシリテーターもいて、衛生面も一安心。訪問先の学校で一番生徒も多く、活気にあふれている学校でした。



ユニセフ指定募金「よむ・かく・うれしい！支援プロジェクト」の支援方法

①書き損じハガキ・切手回収

コープさっぽろでは「家庭でできる国際協力・社会貢献」として書き損じハガキ回収活動に取り組んでいます。



②キャラクターLINEスタンプ開始

コープさっぽろのキャラクター「トドック」「カケル」「クルリン」がLINEスタンプに登場しました。ご購入いただいたことによる収益はユニセフ指定募金に寄付します。



支部報告と計画の概要

①道央（札幌・北海道ユニセフ協会）

■ 2019 年活動報告

開催月日	イベント名（会場）
1月3日～4月12日	カレンダーバザー （コープさっぽろ：ソシア・新はっさむ・西岡・エルフィン・にしのみ・平岡・川下・二四軒・藤野の各店舗・本部）アスティ4・5、千歳タウンプラザ、酪農学園大学
1月24日～27日	チーム・ユニセフ×中学校体育連盟@北海道（帯広アイスアリーナ）
2月14日	ボランティア説明会（ちえりあ）
2月14日～19日	パネル展（ちえりあ）
2月17日	ワールドシンキングデイ（かでの2・7）
3月25日～4月3日	パネル展（コープさっぽろ小樽・岩見沢・滝川総代会議会場）
3月26日	ユニセフ広場（エルフィンパーク）
4月1日～19日	コープさっぽろ指定募金バザー（コープさっぽろ本部）
5月17日	ユニセフ指定募金スタディツアー報告会（コープさっぽろ中央センター）
5月23日～24日	パネル展（北海道庁）
5月25日～27日	パネル展（ちえりあ）
5月29日～6月7日	パネル展（コープさっぽろ函館・室蘭・苫小牧・帯広・釧路・北見・旭川地区総代会会場・通常総代会会場）
6月6日	子育てママの学習会（コープさっぽろ中央センター）
6月16日	森の広場の音楽会（アルテピアッツァ美唄）

開催月日	イベント名（会場）
6月30日	第25回ユニセフ・札幌ラブウォーク（大通公園・市立札幌大通高校）
8月2日	キッズワークショップ2019（読売北海道ビル3F）
8月3日～4日	みんわらウィーク2019（コンベンションセンター）
8月4日	SDGsウォーク2019（コンベンションセンター）
8月24日～10月12日	食べる・たいせつフェスティバル（札幌・帯広・北見・室蘭・釧路・旭川・苫小牧・函館）
8月25日	平和報告会（十勝プラザ）
9月24日～26日	パネル展（札幌市役所）
9月27日	25周年記念事業（SCARTコート）
10月1日～31日	コープさっぽろ指定募金バザー（コープさっぽろ本部）
10月13日	森の広場の音楽会（アルテピアッツァ美唄）
11月6日～12日	ユニセフ広場（新千歳空港 アスティ4・5）新千歳空港外国コイン回収
11月14日～12月3日	コープさっぽろ指定募金バザー（コープさっぽろ本部）
12月2日	ハンド・イン・ハンド（アスティ4・5）
12月25日	国際協力フェスタ2019（地下歩行空間チカホ）

チーム・ユニセフ×日本中学校体育連盟@北海道

主催：平成30年度全国中学校体育大会

スポーツには子どもたちやコミュニティを動かす力があります。そして、強い団結力を築く、不思議な力があります。チーム・ユニセフはスポーツに関するユニセフのすべての活動とパートナーシップを結束することで、子どもたちの生活によりよい変化をもたらすために始めました。



ACU まなびシェア®「キッズワークショップ2019」

特別講座 SDGs「地球の水を考えよう」
主催：㈱クレオテック

小学生と保護者が対象のイベントでした。ユニセフ特別講座では、ペットボトルを使って、ろ過装置を作りました。「いつでもどこでもきれいな水が飲めることは、当たり前じゃないんだ!」と参加した小学生も驚いていました。



第25回ユニセフ・札幌ラブウォーク

主催：実行委員会・北海道新聞社・北海道文化放送

毎年恒例のこのイベントは晴天に恵まれ、参加人数も昨年より増えて、賑やかな催しとなりました。大通公園からのウォーキングコースにあるモニュメントを探しながら、ウォーキングをし、同時に水筒を持って、途上国の子どもたちが行っている水汲みの体験もしました。ゴールの場所としては初めて大通高校をお借りし、展示されたユニセフの写真を興味深く見てもらいました。毎年ご協力いただいています札幌市との体験コーナーでSDGsについてや「子どもの権利条約」を楽しく学ぶことができました。さらにトドックとドーレ君も駆けつけ、会場をいっそう盛り上げてくれました。



ユニセフ広場・パネル展 主催：北海道ユニセフ協会

ユニセフ写真や映像の紹介、支援ギフトや学習教材の展示と合わせて募金活動にも取り組みました。
 「ユニセフによる戦後日本の子どもたちへの支援」ちえりあ
 「長谷部誠大使がたどる『ワクチンの旅』 エルフィンパーク ラブウォーク
 「アグネス大使ウクライナ訪問『忘れられた紛争～光の当たらない子どもたち』」北海道庁 ちえりあ
 「長谷部誠大使 ギリシャ難民キャンプ訪問『すべての子どもに、夢を』」札幌市役所 北海道ユニセフ協会 25周年式典事業 新千歳空港 アスティ4・5



みんなのウィーク 2019

主催：吉本興業(株)

「笑いを力に～笑顔でつながる 179 市町村～」をテーマの北海道・札幌市が後援のイベントは、新喜劇・寄席・縁日・ライブと盛りだくさんな内容でした。北海道ユニセフ協会コーナーではユニセフのSDGsをお知らせしました。



SDGs ウォーク 2019

主催：吉本興業(株)、NPO 法人札幌歩こう会

タレントの皆さんと楽しく SDGs を学ぼう！とコンベンションセンターから白石方面に 2km・10km コースに分かれ、夏の札幌を歩きました。途中のチェックポイントでは、SDGs の 17 の目標から気になる目標の缶バッジを選び、SDGs を知ることができました。



子育てママのための学習会

会場：トドックステーション札幌中央

就学前までのお子様をお持ちのお母さまを対象に、世界で困難な状況にある子どもたちの現状をとおしてユニセフの働きをお伝えする学習会を行いました。



カレンダーバザー

2019 年度御提供くださった企業・団体様です。ホームページなどの呼びかけで全国から励ましの言葉と共にカレンダーや手帳が届けられました。

- ・ HAC エンジニアリング株式会社
- ・ SG リアルティ株式会社
- ・ 會澤高圧コンクリート(株)
- ・ あさひ法律事務所
- ・ 小樽グリーンライオンズクラブ
- ・ 株式会社アイザック
- ・ 株式会社ウォークス・トレーディング管理本部
- ・ 株式会社大気社 東北支店
- ・ 株式会社 NTT データビジネスソリューション事業本部企画部
- ・ 株式会社ゼンケイ
- ・ 株式会社巴商会 京浜営業所
- ・ 株式会社巴商会 仙台営業所
- ・ 株式会社ホクト企画
- ・ 正井地所有限公司
- ・ 損害保険 ジャパン日本興亜株式会社
- ・ 大和ハウス工業株式会社 佐賀支店
- ・ 西尾レントオール株式会社
- ・ ニシザキ工業株式会社
- ・ 日本電設工業株式会社
- ・ フジバスク(株)
- ・ プリジストン BRM 株式会社 千歳事業所
- ・ 三井物産アセットマネジメント・ホールディングス株式会社
- ・ 三井不動産レジデンシャルリース株式会社
- ・ 山田農園
- ・ 有限会社ナリサワ
- ・ (株)ゼンケイ
- ・ 成幸利根(株)
- ・ 三井住友建設(株)
- ・ 大滝学園
- ・ 株式会社札幌大成
- ・ 株式会社ジー・ワイ
- ・ 株式会社セキテック
- ・ 株式会社鶴多建具製作所
- ・ 株式会社トモエガスセンター 高崎工場
- ・ 株式会社ラジオ高崎
- ・ 株式会社 IHI トレーディング
- ・ 株式会社 NIPPO 総務部総務グループ
- ・ 株式会社エネ・ビジョン 東京支店
- ・ 株式会社巴商会 千歳営業所
- ・ 株式会社巴商会 千葉営業所
- ・ キャノンマーケティング ジャパン株式会社
- ・ スターアジア投資顧問株式会社
- ・ 宝興産株式会社
- ・ 成幸利根株式会社 東京支店
- ・ 三井化学ファイン株式会社
- ・ 三井住友建設株式会社 建築本部 設備部
- ・ 有限会社明和重機



その他にも御提供、バザーの取組み、おもとめいただいた方々、ありがとうございました。

2020 年事業計画

春

- ・ 事業後援依頼
- ・ 理事会、評議員会
- ・ 広報誌発行
- ・ ガールスカウトイベント
- ・ ボランティア説明会

夏

- ・ コープさっぽろ総代会
- ・ コープさっぽろ国際協力支援
- ・ 森の広場の音楽会
- ・ 北海道庁ユニセフ写真展
- ・ ユニセフ・札幌ラブウォーク
- ・ 日本ユニセフ協会、学校キャラバン

秋

- ・ コープさっぽろ 食べる・たいせつフェスティバル
- ・ 札幌市役所ユニセフ写真展
- ・ ハンド・イン・ハンド
- ・ 理事会

冬

- ・ ユニセフ広場 (新千歳空港、アスティ 4・5)
- ・ 外国コイン回収
- ・ ちえりあユニセフ写真展
- ・ コープさっぽろ国際協力支援

②道東支部（釧路）

みなとコンサートで多くの方にパネルをご覧いただきました。
あと、学校への講師派遣のアプローチをしています。

■ 2019 年活動報告

月 日	イベント名	会 場
1月13日～14日	カレンダーバザー募金	コープさっぽろ貝塚店
5月24日	ボランティア説明会	市民活動センターわっと
8月3日	釧路みなとコンサート	観光国際交流センター
9月23日	食べる・たいせつフェスティバル	観光国際交流センター
10月20日	くしろせんもん学校・学校祭	くしろせんもん学校
11月9日～10日	生涯学習フェスティバルまなトピア	生涯学習センター
通年	募金箱設置依頼及び回収作業	



ボランティア説明会

他のサークルとの新しい交流が生まれそうです。



食べる・たいせつフェスティバル 2019 in 釧路

SDGs 輪投げが子どもに好評で何度も遊びに来てくれました。

■ 2020 年活動計画

予定月日	イベント名	内 容
1月12日・13日	カレンダーバザー募金	新年のカレンダー販売による募金活動
5月	第9回道東支部総会・会員研修会	道東支部の事業の報告と計画・研修会
7月	ユニセフ・キャラバン・キャンペーン	学校訪問・児童や生徒にユニセフの紹介
8月	くしろ港まつり「みなとコンサート」	写真展と募金活動・チラシ配布
9月	食べる・たいせつフェスティバル in 釧路	写真展と募金活動・チラシ配布
10月	くしろせんもん学校・学校祭	写真展と募金活動・チラシ配布
11月	生涯学習フェスティバルなまトピア 2020	写真展と募金活動・チラシ配布・DVD 放映

③道東支部中標津友の会

例年、活動させていただいている「千島歯舞居住者連盟中標津支部青年部」主催の寄席の会場にて、募金活動・ポスター掲示を実施しました。今年より会場が変更となり町の施設になったことで、ポスター掲示など寄席のお客様以外の町民の皆さまへも啓発活動が出来たと思います。

■ 2019 年活動報告

月 日	イベント名	会 場
7月18日	北方領土返還運動寄席	中標津町総合文化会館



■ 2020 年活動計画

予定月日	イベント名	内 容
7月	北方領土返還運動寄席	会場でイベントの補助を行いつつ、募金・ポスター啓発活動を実施。イベント来場者のみならず、施設利用者へも声掛けを実施する予定。



④道北支部（旭川） 一年ぶりにアッシュでの写真展が開催できました。

■ 2019 年活動報告

月 日	イベント名	会 場
1月12日・13日	カレンダーバザー	コープさっぽろアモール店
9月5日・6日	ユニセフ写真展	旭川買い物後援アッシュ
9月29日	食べる・たいせつフェスティバル in 旭川	旭川大雪アリーナ
11月25日・30日	明星中学校の皆さんとハンド・イン・ハンド	明星中学校・旭川買い物公園
通年	募金箱設置依頼及び回収作業	



食べる・たいせつフェスティバル in 旭川

たくさんの募金をいただきました。




募金活動

校内の集会でユニセフについて学習し、募金活動に取り組んでいます。


■ 2020 年活動計画

予定月日	イベント名	内 容
1月	カレンダー募金	カレンダー販売による募金活動
9月	写真展	ユニセフ写真展示会（2日間）
12月	ハンド・イン・ハンド	明星中学校生徒によるボランティア活動
5月～8月	募金箱回収	募金回収活動

⑤道南支部（函館） 函館だらせんプロジェクトと協賛して行っている外国コインの回収は、小さな善意が目に見える国際協力となっています。


■ 2019 年活動報告

月 日	イベント名	会 場
1月17日	カレンダーバザー募金	コープさっぽろしがイースト店
1月24日	カレンダーバザー募金	コープさっぽろ湯川店
5月11日	北海道ユニセフ協会 25周年記念上映会「いのちのはじまり」&ハコダテだらせんプロジェクト外国コイン譲渡式	函館市中央図書館
10月12日	食べる・たいせつフェスティバル in 函館	函館市国際水産・海洋総合研究センター
10月	募金回収	御やど清水屋・石水亭・第一滝本館・滝本イン・滝乃家別館玉乃湯・登別万世閣・花ゆら・まほろば・名湯の宿パークホテル雅亭・ゆもと登別



「いのちのはじまり」上映会

贈呈された外国コインを上映会場入り口に展示し、図書館利用者にも興味を持ってもらえました。



食べる・たいせつフェスティバル in 函館

あいにくの雨でしたが、SDGs 輪投げは子どもたちに好評でした。

■ 2020 年活動計画

予定月日	イベント名	内 容
1月9日・10日	カレンダーバザー募金	コープさっぽろひとみ店・湯川店
10月17日	食べる・たいせつフェスティバル in 函館	函館市国際水産・海洋総合研究センター
10月	募金回収	登別温泉

写真で見る活動報告～学校

Elementary school

札幌市立西野小学校

学習に取り組んで改めて世界が大変な状況にあることを知った。人種などの差別だけでなく貧しい国や紛争地帯など、他国の助けがないとダメな国がある。このような国の子どもたちを助けてあげるには何が出来るか考えなければならない。その結果が募金だ。余裕が出来たら募金してあげれば子どもたちの助けになる。他にもあれば出来るだけ取り組もうと思う。

ユニセフや戦争という言葉は聞いたりするだけで正直甘く見ていたところもありました。そして、ネットや話などでこのことを知ってどれだけ辛くて悲しくて嫌なことか痛いぐらいよくわかりました。今日お金を渡してすっきりなどしていません。まだまだ辛い思いをしている人がたくさんいるので、募金箱を見かけたら迷わず入れていきたいと思えます。自分から人々を助ける取り組みもしてみたいし、この気持ちを昔の私みたいな人に伝えていきたい。

戦争によってなった食糧不足などで病気にかかり小さな命がたくさん亡くなっていることを学んだ。またその命で戦わせたり地雷のある所を歩かせたりとむやみに扱い盾として使っているところがあった。子どもは守られている立場だと思っていたが、逆に自分だけが助かろうとしている。生きている人間の命はむやみに使うものではないと改めて感じた。



発寒西小学校

～担当の先生からコメントをいただきました～

先日は、大変お忙しい中、本校にお越しいただきありがとうございました。世界の子どもの現状やユニセフが行っている活動について、実物や画像を交えながらお話いただき、子どもたちだけではなく、私たち教員にとっても貴重な時間を過ごすことができました。講師の方のお話をもとに、子どもたち一人一人がテーマを決めて追究し、自分たちができることを実践していこうという意欲を高めていました。この学習をゴールとするのではなく、今後もユニセフ活動への興味関心を継続してもてるように子どもたちに関わっていきたいと思えます。



募金贈呈式&ユニセフ学習



新川小学校



宮の森小学校



前田北小学校



発寒南小学校

札幌市立青葉中学校

私たちが授業を受けている間にも、学校に行かずに家族や国のために子ども兵になり戦っていると知り、間接的にその人たちを助けたいと思いました。兵士になる年齢を15～18歳にするという子どもの権利条約でも、私たちと同じ歳の人たちが戦場にいると考えると本当に怖いと思いました。地雷についてもよく知れました。最後に子どもは戦争の道具じゃないと聞いて感動しました。



子ども兵士は生活が苦しかったり自ら志願するものだと思っていただけ、脅迫されたり無理やり連れて行かれ兵士にされることも多いようで驚きました。地雷は人を殺す道具ではなくて怪我をさせる道具だと学びました。地雷の中でも恐怖を感じたのは、蝶型地雷で、好奇心旺盛な子どもを対象にしているのがすごく残酷だと思いました。これを機に僕はユニセフに興味を持ちました。自分でも調べてみようと思います。



地雷を見たのも勿論初めてだし、実際に戦っている子どもたちの姿を映像で見たのも初めてでした。平和を知らない、幸せを知らない子どもなんて子どもではないです。紛争なんてバカバカしいことはやめて欲しいです。「戦争するべきだ」等と言っている人には、ぜひ UNICEF の活動を見て欲しいです。

今後戦争が少しでも減らせるような対策を考え、世界中が平和に暮らせるような社会をつくるべきなのは私たちということも改めて思いました。

子ども兵のDVDで子どもが「5人殺した」と話している。それに対して別に悪いとも抵抗なども無く平気で言っていたので、本当に平気で殺せるように訓練されているんだなと思った。地雷はたくさんの種類があるということを知れてよかった。しかもそのレプリカに触れて良かった。今回学習講師に来ていただきいろんなことを知ることが出来、いろんな疑問を持つことが出来たのですごく濃い時間だったと思う。



西野中学校



発寒中学校



宮の丘中学校



北嶺中学・高等学校



龍谷高等学校



静修高等学校

University

札幌大学

私たち札幌大学ユニセフネットワーク U-NET は年に3回の募金活動や多くの地域活動を行っています。

その活動の一つとして大学周辺地域の清掃や花壇の花植え活動を行っています。これらの活動では単に地域の美化活動を行うだけでなく、私たち札大 U-NET の活動を地域の方々に周知してもらうと同時に地域の治安維持にも貢献するというとても優れた活動となっています。

私たち札大 U-NET はこのほかに学内外に関わらず団体様からの依頼を受けてボランティアでイベントスタッフを派遣をするなどの活動を行っています。



学校祭



街頭募金

ご支援をいただいた多くの学校様から出前授業や募金贈呈式の様子を一部ご紹介させていただきました。取材のご協力ありがとうございました。

写真で見る活動報告～企業・団体・個人

募金活動に取り組んだり写真展を企画し、ユニセフ活動にご協力いただきました。



札幌清田ライオンズクラブ



北海道高等学校長協会



太平電業(株)北海道支店



長田広告(株)札幌営業所



(株)LNJ 商事



絵と工作の教室うりぼう

チャイルドサポートはまなす

学校や個人、団体様よりご提供いただきました使用済み切手、書き損じはがき、プリペイドカードなどを整理換金しているのが「チャイルドサポートはまなす」です。

2019年の募金額は 505,252 円となりました。



ワールドシンキングデイ

主催：ガールスカウト札幌地区協議会

「リーダーシップ 110 年のあゆみ」がテーマのイベントです。コーナーでは、「あなたにもできる SDGs」を考えてみました。また、カレンダーバザーにもご協力いただきました。



森の広場の音楽会 6月16日(日)・10月13日(日)

主催：森の広場の音楽会呼びかけ人世話人

演奏される方々・聴いてくださる方々と音楽を通して交流し、また日本と世界の子どもの未来へ思いをはせるユニセフ活動に協力するコンサートです。出演料より募金をいただきました。



国際協力フェスタ 12月21日(土)

主催：NGO ネットワーク協議会

SDGsの17のゴールをめざし、小さな一歩を積み重ねるNGO27団体がチカホに集まりました。コーナーでアクセサリーバザーを、ステージはユニセフのSDGsトークで盛り上がりました。



北海道・札幌市で毎年募金活動に取り組んでいただいています

北海道庁（各振興局も含む）より742,313円、
札幌市役所より182,888円の募金をいただきました。



写真で見る活動報告～コープさっぽろ

コープさっぽろにおけるユニセフ活動

募金

ユニセフ指定募金やロヒンギャ難民緊急募金にご支援いただきました。また使用済切手整理のお手伝い・店舗でのバザーや支援コーナーから募金をいただきました。全道8会場で開催される「食べる・たいせつフェスティバル」で、コープさっぽろと一緒に取り組んだイベントの紹介などを行いました。



募金贈呈式



食べフェス札幌

学習会

コープ会やエリア委員会では、ユニセフについて当協会の学習講師と一緒に体験しながら学んでいます。スタディツアー報告会では、日本ユニセフ協会からも報告がありました。



帯広地区東エリア



札幌中央センター

ご支援くださった個人・団体企業の皆さま、
ありがとうございました。

北海道ユニセフ協会 25周年 記念事業・開催報告

北海道ユニセフ協会 専務理事 花淵馨也

北海道ユニセフ協会の設立から25周年を迎えたことを記念し、令和元年9月27日（金）、札幌文化芸術交流センターにて、これまで協会の活動に参加していただいた多くの方々をお招きし、講演会および式典を開催しました。会場には、ユニセフ写真展「長谷部大使、ギリシャ難民キャンプ訪問」、「すべての子どもに夢を～ for every child, a dream～」の展示、および札幌市「子ども権利条約コーナー」、JICA北海道「SDGsコーナー」が設けられました。

記念講演会では、講師として長年ユニセフ現地事務所でご活躍されてきた久木田純先生（関西学院大学客員教授）にご登壇いただき、「21世紀の子ども達とユニセフ：持続可能な世界のために」というテーマで、現代世界においてユニセフが果たすべき役割について広い視点に立った貴重なお話を頂きました。

講演会後には、25周年記念ミニコンサートとして、JICA北海道の野吾奈穂子様にSDGs推進応援ソング「もっと輝く未来のために～Go for SDGs!～」を、会場と一緒に歌って頂きました。また、アンサンブルユニセフ（麻田亮一様、大澤麻由様、近藤雅子様）には、素敵なクラシックの楽曲を演奏していただき、会場を和ませていただきました。

記念式典では、長瀬清会長の挨拶につづき、日本ユニセフ協会・団体事業部長の海老原隆一様から祝辞を頂きました。また、鈴木直道北海道知事からの祝辞、および各都府県のユニセフ協会や関係団体からの祝電が披露されました。

当協会の25年の歩みを写真でふり返るDVDの上映の後、感謝状授与式が行われました。授与式では、北海道ユニセフ協会設立当初より長年ご協力頂いた団体の皆

様、および長年協会の活動を支援していただいたボランティアの皆様にも長瀬会長から感謝状と記念品が贈られました。対象者の皆様は次の方々です。

団体の皆様：生活協同組合コープさっぽろ様、北海道新聞社様、ガールスカウト北海道連盟様、ガールスカウト札幌地区協議会様、ボーイスカウト北海道連盟様、立正佼成会様、北海道放送様、新はっさむユニセフボランティアグループ様、西岡ボランティアグループ様、日本管財株式会社北海道支店様、毎日新聞社北海道支社様、北海道ユニセフ協会道東支部（旧釧路市友の会）様、前室蘭友の会様、ちゃちゃワールド（旧生田原友の会）様
個人の皆様：チャイルドサポートはまなす今井友子様、小原佳子様、小林久美子様、亀井栄子様、北海道ユニセフ協会前専務理事志渡晃一様、同協会監事伊東孝様、同協会前監事故山田健一様

感謝状授与の後、受賞者代表としてコープさっぽろ専務理事中島則裕様から、当協会への温かい励ましの言葉とともにご挨拶をいただきました。

当協会麻田信二副会長理事の閉会挨拶により記念式典を終了した後、会場を移して行った交流会では、旧交を温め、当協会の未来について語り合うことができました。

25年というひとつの節目において、当協会のこれまでの歩みをふり返る今回の記念事業は、当協会の活動が、多くの人々の、長年の地道な活動によって支えられてきたことを再確認するたいへんよい機会となり、当協会のメンバー一同、今後の活動の発展に向けての決意を新たにすることができました。今回の記念事業開催にあたり、ご後援、ご協力をいただいた北海道、札幌市、北海道新聞、生活協同組合コープさっぽろ、JICA北海道ほか、多くの団体および個人の皆様に厚く御礼申し上げます。



会場の様子



アンサンブルユニセフ



会長あいさつ



当日、参加出来なかった方にも感謝状をお渡ししました。

記念講演「21世紀の子ども達とユニセフ：持続可能な世界のために」 講師紹介



久木田純氏

関西学院大学学長直属 SGU 招聘客員教授、関学国際機関人事センター、大学院国連・外交コース担当。国連フォーラム共同代表（unforum.org）。日本国際連合学会事務局長。西南学院大学文学部卒、シンガポール国立大学社会科学学部留学（ロータリー財団フェロー）を経て、九州大学大学院で教育心理学修士号取得、同博士課程進学。1985年外務省 JPO 試験に合格、翌年から国連職員としてユニセフ駐モルディブ事務所へ派遣され、駐日事務所、駐ナミビア事務所、駐バングラデッシュ事務所副所長、ニューヨーク本部上級顧問を経て、駐東ティモール事務所代表、駐カザフスタン事務所代表を歴任。2015年1月国連退官。2015年9月より現職。2003年に世界銀行総裁賞受賞（ポリオ根絶パートナーシップ）、2011年に東ティモール共和国勲章（人道・開発・平和への貢献）を受勲。著書に『東ティモールの現場から～子どもと平和構築』（ソトコト新書 2012年、Kindle版 2018）

インフォメーション……………



ユニセフにご協力いただく方法

ユニセフの活動は皆さまからのご協力によって支えられています

●ユニセフ募金

子どもたちを守るユニセフの活動全体を支えます。保健、栄養、水と衛生、教育、子どもの保護など、190の国と地域で行われているユニセフの活動全体を支えていただく大切な募金です。全国の郵便局（ゆうちょ銀行）からご送金できます。

振替口座：00190-5-31000

口座名義：公益財団法人日本ユニセフ協会

*通信欄に「K1-010 北海道」とご記入ください

*窓口でお振込の場合、送金手数料は免除されます

このような方におすすめです～最も支援が必要な子どもたちの支援を好きな時に行いたい

●緊急・復興支援

地震や津波、洪水、台風などの自然災害や、紛争で被災した子どもたちのための緊急・復興支援活動を支える募金です。

「支援先をお選びください」ロヒンギヤ難民・シリア・アフリカ栄養危機・自然災害・人道危機（2019年12月31日現在）

このような方におすすめです～自然災害や紛争の影響を受けている子どもたちを支援したい

●分野・地域指定募金

水と衛生、HIV／エイズなど特定のユニセフの活動分野や、ユニセフが活動を行っている国・地域を指定してご支援いただける募金です。

このような方におすすめです～特定のプロジェクトを応援するため支援したい

●ユニセフ・マンスリーサポート・プログラム

クレジットカードもしくはご指定の金融機関から、任意の金額を、毎月、自動振替でご協力いただく募金プログラムです。本プログラムは、ご支援期間が決まっておきませんので、停止のお申し出をいただくまで継続されます。

このような方におすすめです～最も支援が必要な子どもたちを継続的に支援したい

●支援ギフト

ユニセフの支援物資を、途上国の子どもたちにプレゼントするご支援方法です。ワクチン、治療用ミルク、毛布などのユニセフの支援物資をご指定ください。ユニセフがあなたに代わって、子どもたちのもとにお届けします。



●賛助会員

日本ユニセフ協会が行う様々な活動を、賛助会費によってご支援いただく協力方法です。賛助会員には「ユニセフニュース」や資料をお送りしますので、世界の子どもたちの状況やユニセフと日本ユニセフ協会の活動を知り、出来る範囲で行動する機会にさせていただくことが出来ます。

会員の種類と期間

1. 一般賛助会員 1口 5,000円
(個人・入会月から1年間・申し出まで継続)
2. 学生賛助会員 1口 2,000円
(18歳以上の学生・入会月から1年間・申し出まで継続)
3. 団体賛助会員 1口 10万円
(企業、団体、有志のグループ・1年ごとの更新)
年会費は、毎事業年度における合計額の50%以上を当該事業年度の日本ユニセフ協会の公益目的事業に使用いたします。

●外国コイン

旅行や出張で海外に行ったことがある方なら、残ったコインや紙幣が必ずあるはず！一部の国の紙幣を除けば、外国通貨は日本では両替することができません。記念品やおみやげにするのも楽しいですが、余ったコインを世界の子どもたちのために役立ててみてはいかがでしょうか。

●北海道ユニセフ協会の ①「会友」に登録する

2011年に4月1日にスタートいたしました北海道ユニセフ協会は、新たに「会友（かいゆう）」を募っています。これは日本ユニセフ協会の賛助会員であるか否かを問わず、新たに多くの方に当会の活動を支えていただくためのものです。趣旨をご理解の上、ぜひご登録をお願いいたします。

会友登録は無料ですが、広報誌やイベント案内など希望される方には通信費など実費として最低500円以上（年）のご寄附をお願いしています。会友に登録はするが広報誌など不要の方は、寄付の必要はございません。

●北海道ユニセフ協会の ②ボランティアに登録する

事務所や会場での活動です。主な作業は、イベント会場や街頭での募金活動・外国コインの回収と発送。パネル展の企画運営やユニセフ支援ギフトの紹介。事務局の補佐として資料の作成や発送の作業、未使用や使用済みの切手・ハガキ・カードの整理などです。性別や経験、年齢は問いません。

詳しくは北海道ユニセフ協会にお問い合わせください。

〒063-8501 札幌市西区発寒11条5丁目10-1

コープさっぽろ 本部2階

TEL (011) 671-5717 FAX (011) 671-5758

E-mail : info@unicef-hokkaido.jp http://www.

unicef-hokkaido.jp

ユニセフとは

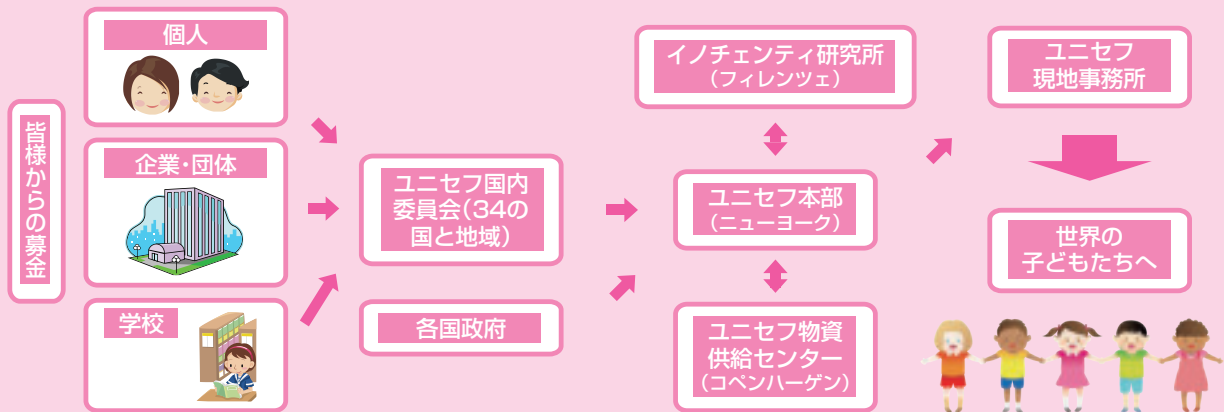
ユニセフ (UNICEF: 国連児童基金) はすべての子どもの命と権利を守るため、最も支援の届きにくい子どもたちを最優先に、190の国と地域で活動しています。第2次世界大戦によって厳しい生活を強いられた子どもたちへの緊急支援を行うため、1946年に創設されました。

教育、保健、水と衛生、栄養、暴力や搾取からの保護、HIV／エイズ、緊急支援、アドボカシーなどの支援を実施し、戦争で被災した子どもに限らず子どもたちの健やかな成長のために活動を行っています。その活動資金は、すべて個人や企業・団体・各国政府からの募金や任意拠出金でまかなわれています。

日本ユニセフ協会とは

公益財団法人日本ユニセフ協会(ユニセフ日本委員会)は世界34の先進国・地域にあるユニセフ国内委員会の一つです。ユニセフとの「協力協定」のもと、日本国内において民間で唯一ユニセフを代表し、募金活動、広報活動、「子どもの権利」の実現を目的としたアドボカシー(政策提言)活動を行っています。日本ユニセフ協会の事業は、ユニセフとの間で行なわれる定期協議の場で合同計画を作成し、同計画に基づいて実施されています。これまでに子どもの権利条約及び選択議定書の批准に尽力し、また現在は子どもの商業的性的搾取や子どものポルノなど子どもの保護に関する問題に取り組んでいます。

ユニセフの組織と募金の流れ



ユニセフボランティア募集中!

「無理なく、できる時で、あなたもユニセフ活動に参加しませんか。」

お気軽にお問い合わせください。

あしがき

今年も広報誌「ユニセフとわたしたち」をお届けできますこと、嬉しく思います。この広報誌を発行するにあたり多くの方々のご協力をいただきましたことに心よりお礼申し上げます。当協会も無事に25周年を迎え、2020年からは四半世紀を超えた新たなあゆみをすすめることとなりました。多様化する社会の中で困難な状況にある子どもたちにたいして、私たちができる支援はわずかなものかもしれませんが、一歩ずつ、歩みを進めたいと思います。今後とも皆様のご支援とご協力をよろしくお願いたします。

事務局 斉藤、近藤



・地下鉄宮の沢駅より 徒歩 20分 ・JR 発寒中央駅より 10分

「ユニセフとわたしたち」2020年3月発行 発行：北海道ユニセフ協会

〒063-8501 札幌市西区発寒 11条5丁目 10-1
コープさっぽろ本部 2F

Tel.011-671-5717 Fax.011-671-5758 e-mail:info@unicef-hokkaido.jp
●活動日/月・火・木・金 AM10:00 ~ PM4:00 祝祭日をのぞく